



MIYOSHI  
CENTRAL HOSPITAL

第12号

2009年4月

市立三次中央病院だより

# 花みずき



左：患者代表 中：村井市長 右：永澤副院長

オープニング  
セレモニー

## 平成20年12月1日から 電子カルテシステムが始動!

(8ページに関連記事)



### 基本理念

私たちは地域の皆様から信頼され  
親しまれる病院を目指します



## 就任挨拶

医療は患者と医療人が協力して構築すべきものであり、公共財としての医療を守っていきます



病院長

中西 敏 夫

平成21年1月1日付けで故末永健二病院長の後任として市立三次中央病院の院長を拝命しました。

私は昭和47年に広島大学医学部を卒業、大学病院で2年間内科研修をして第一内科に入局しました。専門は消化器、とくに肝臓です。昭和55年から約25年間広島大学に在職しましたが、退官前の数年間、国立大学は独立法人化を控え、大学病院改革は課題が山積していました。医療事故対策、電子カルテ、DPC（注）などの委員、何でもやってみるもので、この経験は院長職についてみると大いに役に立ちました。

平成15年に呉市の医師会長に誘われ医師会病院に赴任しましたが、3年目突然声がかかり、庄原赤十字病院への転勤が決まりました。第一内科の大事な関連病院です。大学の肝臓研究グループにも庄原に勤務した医師が大勢いました。庄原に赴任した翌年の院内報の抜粋です。

## 市立三次中央病院

# 備えあれば減災できる！

## ●最も信頼のできる病院に

麻酔科医長 柳谷 忠雄

平成20年10月5日（日曜日）、当院外来駐車場と外来フロアを舞台に、集団災害医療救護訓練が開催されました。広島県では、平成14年より毎年各医療圏で持ち回りにて開催されており、第7回目の今回は備北医療圏が担当となりました。いつ起こるか分からない集団災害に対して医療救護活動を関係諸機関と密接に連携を取りながら、円滑かつ効果的に実施できるようになることが目的です。

当日は朝から雨が激しく降りしきり、実施が危ぶまれましたが、約450名の参加者を得て、実践さながらの充実した訓練を行うことができました。

訓練は、二部構成です。第一部は発災現場でのトリアーシ（注1）を中心に、現場での救護活動の進め方、迅速に進めるかの訓練です。当院の外来駐車場で行われました。備北地区消防組合を中心とした消防機関と当院及び庄原赤十字病院の医療救護班とが協同で救護活動にあたりました。第二部は病院内での救護訓練です。発災現場より次々に運ばれてくる傷病者に対して、当院の職員がいかに重症度（分類）を考えながら対応するかを訓練するものです。外来フロアを中心に40名近くの傷病者の治療にあたりました。

今回は、三次IC付近で観光バス2台が衝突



テントを観光バスに見立て、衝突事故を起こしたと想定

事故を起こしたと想定したシナリオで行われました。臨場感を醸し出すために傷病者役の方には、演技指導もメイキャップもプロに依頼していたためリアル感のある演技をしていたので、訓練とはいえ本当の災害かと錯覚する程の内容でした。

平成20年  
10/5(日)  
集団災害医療  
救護訓練



「医療は地域性が色濃く現れています。新任職員も多くはこの地域に縁もゆかりもあります。庄原の地域性、この地の人々の生業、地理、天候などの環境を地域に溶け込んで生活するなかで理解し、自分の職場、地域を大事に思い「庄原の地」が自分たちのこころの故郷と感じ診療に従事できるようにと希望しています。地理的には広島市内から遠く、冬の厳しい寒さを経験しても医療を通して触れ合った、病院の医療従事者また地域の人々の振る舞いは、病院や職員に対し感謝の気持ちにあふれており、医療の原点は信頼関係、「ありがとう」、「ご苦労様」、「どういたしまして」、「お大事に」がまだまだ残っている地域であると感じさせるからであります。」

末永院長の急逝のあと後任人事は広島大学の医療政策室に委ねられ、備北二次医療圏、庄原と三次が協力できる医療体制を考慮し、庄原赤十字病院から三次中央病院へ異動してほしいと要請を受け赴任しました。

医療崩壊が叫ばれる中「医療は患者と医療人が協力して構築すべきものであり、公共財としての医療を守っていく」という認識が必要です。また医療の原点は信頼関係であり、住民、行政、医療人が協力してこそ維持できるものと考えております。

(注) DMAT

(Diagnosis Procedure Combination) 従来の診療行為の実施分を計算する「出来高払い」方式と異なり、入院に係わった疾病により決まる、定額の診療報酬を病院に支払う「包括支払い」方式

当院でもこの日に備え、準備を進めました。院内勉強会、外部講師を招いての講演会などを繰り返し行い、最終的には当院にも厚生労働省認定DMAT(注2)を編成することができました。当院職員が一丸となって臨むことのできた今回の集団災害医療救護訓練でしたので、広島大学大学院救急医学の谷川攻一教授より検証報告書で、「広島県で行う医療救護訓練において多傷病者搬入時の病院対応は年々向上しているが、市立三次中央病院の訓練は総じて素晴らしい内容であった、と高く評価したい。災害に対する市立三次中央病院の対応能力は極めて高く、備北地区における中核医療機関として最も信頼のできる病院であると考え。」との賞賛のお言葉を頂きました。

今回、集団災害医療救護訓練を経験したことで、「備えがあってもな



第一部 本部風景

消防、DMAT、医療救護班が協力してトリアージを行っている様子



第二部 救急車から病院へ患者を搬入する様子



お悩みがある」のが集団災害医療と考えておりましたが、「備えあれば減災できる」を確信できました。これからも地域医療の要として今後の災害対応において何が必要であるかを実感でき、訓練を実施したことは大変有意義でした。

(注1) トリアージ…災害発生時など多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急性や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために傷病者の治療優先順位を決定すること。

(注2) DMAT(ディーマット)(Disaster Medical Assistance Team)…大規模災害、広域地震災害などの際に、災害現場・被災地域内で迅速に救命治療を行えるための専門的な訓練を受けた、機動性を有する災害派遣医療チームのこと。



# 連載 がんの治療

産婦人科医長 赤木 武文

## ③ 子宮頸がん

子宮頸がんは子宮の頸部（入り口）にできるがんです。女性生殖器のなかでは最も頻度が高く、女性のがんの死因としては、乳がんについて2番目に多い疾患です。原因はヒトパピロウイルス（HPV）の感染で、関連性を明らかにした研究者に昨年ノーベル賞が贈られました。

多産婦に多く、25〜34才の女性のがんでは、子宮頸がんが最も多い。好発年齢は40才代ですが、早期がんは30才代に多く、進行がんは60才代に多い。

### 検査と診断

検査方法は、子宮頸部（入り口）を綿棒で擦って細胞を採取し、顕微鏡で観察する「細胞診」です。細胞診の判定は悪性度に応じて、I、II、III、IV、V段階に分類されます。クラスIII以上は詳しい検査が必要で、子宮頸部をコルポスコピー（拡大鏡）で観察して、異常部位の組織検査をします。（「狙い組織診」といいます）

子宮頸がんの診断がつけば、浸潤がんの場合、子宮頸部内の大き

さ、周囲への広がり判断するためMRI検査を行い、リンパ節や他の臓器への転移があるのか調べるためにCT検査を行います。

### 治療

手術療法、放射線療法、化学療法があります。その目安をしますが、がんの広がり（臨床進行期）、妊娠希望など考慮して治療法を決めます。

#### 1. 手術療法

- ・円錐切除術：0期、妊娠希望ありのIa1期
- ・単純子宮全摘術：0期、妊娠希望なしのIa1期
- ・広汎性子宮全摘術：Ia2期〜IIIb期（リンパ節郭清）

#### 2. 放射線療法

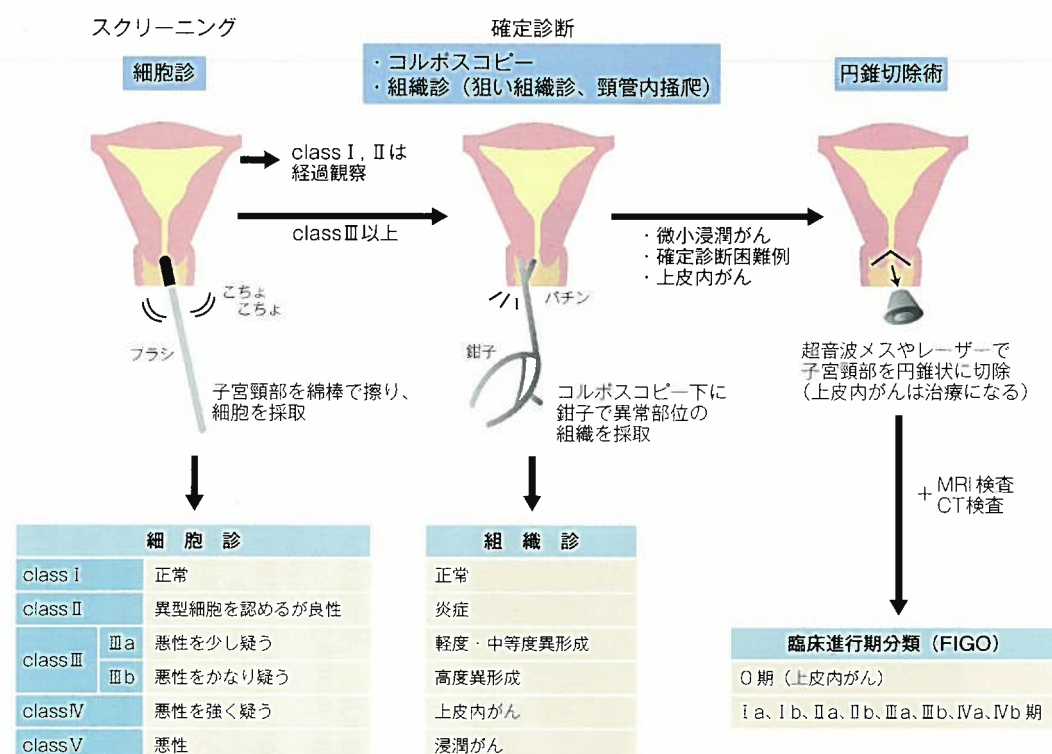
- ……III、IV期（場合によりIIb期）
- ・化学療法を同時併用することが多い。

- ・高齢、合併症などにより手術困難なI、II期の症例にも行われます。

#### 3. 化学療法

- ……III、IV期
- ・IIb期症例に手術前に化学療法

### ●子宮頸がんの検査



を行うことがあります。子宮頸がんは早期発見できる病気ですので、最も大切なことは予防することです。そのためには定

期的な検診（細胞診）が必要です。がんができてから早期に発見すれば、子宮を守り、妊娠できる体の維持も可能です。



## 手のしびれに

ご注意ください!!

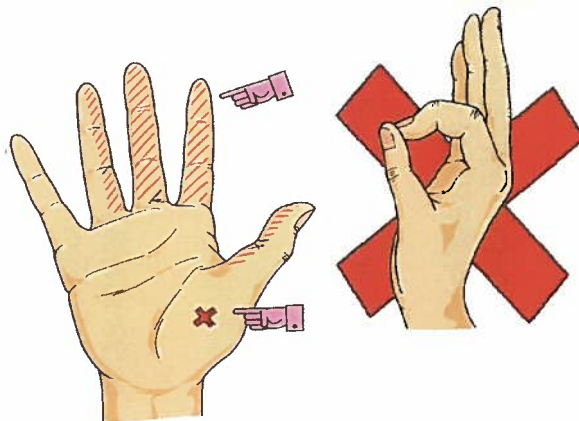
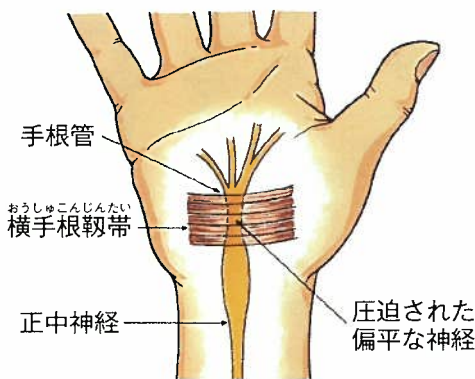
(手根管症候群)

整形外科医長 高田 治彦

最近朝起きると手がしびれる、手仕事や車の運転をすると手がしびれることがありますか。その原因の一つとして手根管症候群という疾患があります。放置すると親指の機能障害が生じ、日常生活に支障をきたすようになります。早期診断・治療が大切です。

### 1 手根管症候群とはどんな病気ですか?

手首の手の平側には骨と靱帯でできた管があり、これを手根管といい、その中には指を曲げる腱が9本と正中神経という神経が通っ



ています。正中神経は母指・環指の半分の知覚と、母指の付け根の筋(母指球筋)に働きつゝみ動作を行います。手根管で正中神経が圧迫を受けることで先ほどの知覚障害や、運動麻痺(OKがで

### 2 診断方法は?

くくなります)をきたします。特徴的な症状として朝起きると手がしびれていることがあります。

手の触覚と筋力低下・筋萎縮の有無を診察します。似たような症状は頸椎由来の神経痛や糖尿病などの代謝疾患でも生じますが、しびれや知覚異常の範囲でおおむね診断はつきます。筋力低下を生じた場合はOKサインが困難になります。中には手関節の骨折等の疾患後に発症する例もありますので手関節のレントゲン撮影も行います。補助診断として神経の中に伝わる電気信号の伝わる早さを測定する神経伝導速度検査を行い手根管での圧迫の有無を診断します。

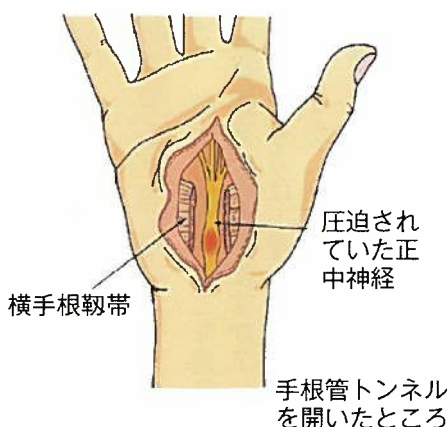
### 3 治療方法は?

手術をしない方法(保存療法)は、手の使いすぎによつて発症することが多い疾患ですので、まず手の安静を心がけることです。お薬の治療としてはしびれに対してビタミンB12製剤が用いられます。夜間しびれで目が覚める方には手関節を背屈したかたちで固定するギプスを装着して頂くと症状が軽減します。これは診断にも役立ちます。最終的に症状の軽減しない

方や、手の筋力低下(ボタンかけなどのつまむ力)をきたした場合手術が勧められます。手術方法は、当科では局所麻酔で手の平を約2cm切開し皮下の靱帯を切開する最少侵襲手術を行っています。手術時間は約20分程度です。手術の目的は症状の進行予防であり、術前の症状は必ずしも完全にとれないことをご理解ください。手術のタイミングを逃すと大きな後遺症を残すことがありますので早めに整形外科にご相談ください。

### 4 どのような症状に注意すればよいですか?

手のしびれを生じたときには何指がしびれるのか、どんなときにしびれは強いのかに注意してください。ボタンかけや書字などに難しさを感じたら要注意です。早めに整形外科でご相談ください。





いいこと  
たくさん

# 院外処方せん

## 院外処方せんを推進しています

当院では、外来受診の患者さまのお薬は、院外処方せんを発行し、院外の保険調剤薬局（以下、院外薬局）でお薬を受け取っていただくことを推進しています。厚生労働省からの医薬分業の推進にともなう指導ですので、皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

「近所に院外薬局がない」「院外薬局まで行くのが不便」「処方せん料や調剤料で薬代が高くなるのでは…」などのデメリットばかりが強調されがちですが、今日は院外処方せんのメリットや受け取り方などを紹介させて頂きます。



## 院外処方せんのメリットは？

### 1 お薬の飲み合わせや重複をチェックできます

院外薬局では、処方された薬を全て記録して薬歴（薬のカルテ）を作成し、他の診療科から処方された薬との飲み合わせ・重複投与をコンピュータでチェックしています。

さらに、一つの薬局を「かかりつけ薬局」として決めておかれると、複数の病院からもらった薬の飲み合わせや重複もチェックして

もらえるメリットがあります。

### 2 薬や健康に関する情報を気軽に聞くことができます

処方されたお薬の説明を納得するまで聞くことができます。

また、「処方内容への疑問」「副作用への不安」「お薬一般に関する質問」はもちろん、健康補助食品などに関しても気軽に教えてもらえます。

### 3 ジェネリック医薬品に変わってお薬代を軽減することもできます

院外処方に限り、患者さまの意思で、成分が同じで低価格のジェネリック医薬品への変更が可能です。

ジェネリック医薬品がない薬もありますが、院外薬局の薬剤師にご相談されてみてはいかがでしょうか？お薬代がかなり軽減される場合もあります。

（注）主治医が治療への影響があると判断した場合は、変更できません。

### 4 ファックス送信サービスにより待ち時間が短縮し、都合のよい時に受け取ることができます

当院では、ファックス送信コーナー（無料）を設置し、処方内容を事前に希望される院外薬局に送信しています。

院外処方せんの有効期間は、発行日を含めて4日間（日曜祝日も数えます）となっていますので、4日以内の営業時間内であれば、いつでも受け取ることができます。

## よくある患者さまからの質問

Q1. お薬引換券のどこを見れば院外処方とわかりますか？

院内処方とは1番からの通し番号ですが、院外処方とは9001番（番号左上に院外と記載）からの通し番号となっています。

Q2. お薬代の支払いはどうなりますか？

診療にかかる費用は病院で、また薬にかかる費用は院外薬局でお支払い頂くことになります。

Q3. 処方せんはどこでもらえるのでしょうか？

当院薬剤科の窓口でお薬引換券と交換します。

（注）院外処方せんを受け取らずに院外薬局に行かれないようお願いを 부탁드립니다。

Q4. この薬局で薬をもらったらいののでしょうか？

平成21年2月現在、三次市には29の院外薬局がありますが、ファックスコーナーにて庄原市、安芸高田市など近隣の院外薬局所在地も掲示しています。その中から患者さまの意思で自由に選択して頂くことが可能です。

（薬剤科…山下秀之）



# シリーズ 認定看護師



緩和ケア認定看護師  
湯川 弘美

みなさん、こんにちは。四階東病棟に勤務しています。緩和ケア認定看護師の湯川弘美です。今回は貴重な紙面をいただいて、緩和ケアと私が行っていることの紹介をさせていただきます。

現在、緩和ケア認定看護師は全国に572名、広島県には20名います。緩和ケア認定看護師の役割は、がんと診断されてから様々な苦悩を抱えておられる患者さまと、そのご家族に対してできるだけ苦痛を取り除きQOL(生活の質)を考慮したケアを行うことです。そして、最期の時まで共に歩む医療者であることです。残念ながら、一般的には緩和ケアやホスピスは「何もしない、死ぬところ、死をまつところ」という印象があるようですが、ホスピス・緩和ケア

は「よりよく生きぬくためのケア」です。

今、力を注いで行っていることの一つに「リンパ浮腫治療」があります。リンパ浮腫とは、先天性疾患・がんの手術・放射線治療を行われた後に手や足が病気の進行とは関係なく腫れる状態をいいます。主に乳がん・子宮がん・卵巣がん・直腸がんや大腸がん・前立腺がんなどの手術を受けた方に見られる症状です。がんは治ってもリンパ浮腫が発症するというケースもあります。手や足が腫れると日常生活に大きく影響して、人には話せないような辛い体験をされています。そういう方々に対して症状を緩和し、日常生活が少しでも楽に過ごせるように医師と力を合わせてお手伝いをさせて頂いています。もしもお一人で抱え込まれておられたら、どうぞ当院に相談してください。そして、リンパ浮腫以外にも、がんでも、がんではない辛いことを抱えておられる方々のお役に立てるようにこれから頑張っていきたいと思っています。

リンパ浮腫治療



## 患者さまの身の回りの お世話をします

看護助手



4階東病棟看護助手  
田原 イザベラ



ベッドのシーツ交換

てくる。それだけで少しは役に立っているのだと、とても嬉しい気持ちになります。

また、病氣と闘っておられる患者さまを毎日みていると、私は

はつらくて暗い気持ちになることがあります。患者さまの気持ちや少しだけでも楽になればと、精一杯の笑顔で接することを心掛け、お世話をさせていただきます。

看護助手の仕事には、病棟内の環境整備や、身体を動かさない患者さまへの配茶、食事介助、口腔ケア、入浴介助、ベッドのシーツ交換などがあります。

患者さまのお役に立てることは多くはないかも知れませんが、お茶を一杯差し上げる。「ありがとう」と笑顔が返っ

私は病院で働くことが大好きです。人のために働くことはとても素晴らしい仕事だと思います。幼い頃の私の夢は「看護師」になることでしたが、時が経つにつれてその夢も忘れていました。今回看護助手の仕事に就く機会に恵まれ、改めて幼い頃の夢を思い起こしています。今の私の目標は「看護師」になることです。





平成21年3月2日

## 「病院見学ツアー」開催

「医療は、患者と医療人が協力して構築すべきものであり、公共財としての医療を守っていきます。」との中西院長の呼びかけにより、「病院見学ツアー」を開催しました。

当日は21名の市民の方が参加くださり、病院内の見学や、ピアノコンサートを楽しんでいただきました。また地産地消の病院給食を食べながら、参加されたみなさまから「病院ボランティアを呼びかけてください、参加しますよ!」と積極的な声をたくさんいただきました。

「病院ボランティア」を募集しますので、積極的なご参加をお願いします。みなさんといっしょに地域医療を守りましょう。



食事会の様子

## あなたにもできます 病院ボランティア募集!!

- ①外来ボランティア  
車の乗降等身体の不自由な方への支援、再来受付機の操作案内
- ②病棟ボランティア  
入退院時の荷物の搬入搬出支援
- ③グリーンボランティア  
観葉植物・切花・花壇の管理
- ④趣味活動ボランティア  
趣味を活かし、癒しの時間、空間を演出
- ⑤イベントボランティア  
当院主催のイベント支援
- ⑥環境整備ボランティア  
車椅子の調整等、病院環境の整備

●ボランティア登録・お問い合わせ  
地域医療連携室  
TEL 0824-65-0239

## 電子カルテ稼働と地域連携診療予約について

去る平成20年12月1日より、当院では入院外来ともに電子カルテシステムによる診療となりました。これに伴い、外来診療は診療時間予約制となっています。

この予約制の採用は、診療時間までの時間を患者さまに自由に使っていただけるシステムである一方、予約なしでのご来院では、早い時間で来られた方が早い時間の診療とはな

らないことをご理解ください。

なお、当院にはかかりつけ医からの紹介システム（FAX対応）により、あらかじめの診療時間予約「地域連携予約」ができます。紹介状を持たれている患者さまでも「地域連携予約」なしでのご来院ではお待ちいただくことになります。ぜひ、かかりつけ医にご相談の上、ご活用ください。



バス 備北交通・中国バス（JR三次駅から約10分）  
お車 JR三次駅から約6分、中国自動車道三次I.Cから約3分です。

当院でお産される方へ

## 当院は産科医療補償制度加入機関です

産科医療補償制度とは、分娩に関連して重度の脳性まひになった赤ちゃんご家族の経済的負担をすみやかに補償する制度です。



お願い

## 救急診療について

診療の準備をしますので、事前に電話連絡をお願いします。保険証をご持参ください。

TEL:0824-65-0101(代)